

2 単位制高校の設置（総合学科を除く）

対象高校	実施年度	設置学科	備考
佐原女子	15年度	普通科	・共学化を実施。 ・佐原白楊高校に校名変更。
幕張総合 (再掲)	15年度	普通科	・統合の欄を参照。 ・16年度若葉看護高校と統合。
佐 倉	17年度	普通科	
長 生	17年度	普通科 理数に関する学科	
成田国際	18年度	普通科 国際理解に関する学科	現在ある英語科と国際教養科を国際人文科に改編する。
松戸国際	18年度	普通科 国際理解に関する学科	

単位制高校について

- ・ 従来の学年ごとに定められた教科・科目を履修するのではなく、必修科目以外は生徒の特性・個性や能力・進路目標に応じた教科・科目を選択・履修します。
- ・ 単位認定については、過去に在籍した高校で修得した単位を卒業に必要な単位として認定するなど、柔軟な単位認定を行います。
- ・ 入学年次別集団の枠を越え、異年齢集団での授業があります。
- ・ 前期と後期で単位認定を行う2学期制を導入します。
- ・ 学年の修了認定がなく、留年もありません。
- ・ 一定の単位数を修得すれば、卒業できます。
- ・ 終業年限は学年制と同様、全日制課程については3年、定時制及び通信制課程については3年以上です。

4 中高一貫教育校の設置

対象高校	実施年度	設置学科	備考
関宿	16年度	普通科	関宿町立木間ヶ瀬、二川、関宿中学校の3校と連携。

連携型中高一貫教育校について

- ・ 連携中学校から連携高校へ進学する際、面接等のいわゆる簡便な入試で入学できます。
- ・ 6年間を通して生徒の個性や能力の一層の伸長を図り、特色ある教育内容、例えば、郷土に関する学習を展開していきます。
- ・ 中学校・高校の系統的な学習、異学年集団での体験学習や学校行事等を通して、教員や生徒の交流を深めます。

5 共学化

対象高校	実施年度	設置学科	備考
若葉看護 (再掲)	14年度	看護に関する学科	・統合の欄を参照。 ・16年度幕張総合高校と統合。
佐原女子(再掲)	15年度	普通科	単位制の欄を参照。
松戸	16年度	普通科 芸術に関する学科	芸術科を設置し、美術・工芸の2つの類型を置く。
茂原	16年度	普通科	
大多喜女子 (再掲)	16年度	普通科 外国語に関する学科	・統合の欄を参照。 ・16年度大多喜高校と統合。
佐倉東	17年度	普通科 家庭に関する学科	調理系、デザイン系を置く。
御宿 (再掲)	17年度	総合学科	・統合の欄を参照。 ・17年度勝浦高校と統合。
松尾	18年度	普通科	・福祉系コースを置く。
野田 (再掲)	18年度	普通科	・統合の欄を参照。 ・18年度野田北高校と統合。

2. 魅力ある高等学校の設置

(1) 単位制高校

【現行再編計画】

全日制高校については、総合学科だけではなく、普通科や一部の専門学科を含め、16校程度設置する。

なお、定時制の課程及び通信制の課程は、原則として単位制とする。

※ 単位制高校とは、学年の区分がなく、生徒が自らの興味・関心や進路希望等に応じて履修する科目を選択し、修得単位数の合計が卒業に必要な単位数を満たせば、卒業できるシステムの高校

【実施状況】 全日制高校 16 校及び定時制課程、通信制課程に単位制を導入

	単位制導入校
第 1 期	総合学科：八街(H15)、君津青葉(H16)、安房拓心(H17)、勝浦若潮(H17) 国際高校：成田国際(H18)、松戸国際(H18) <u>普通科等</u> ：佐原白楊(H15)、幕張総合(H15)、佐倉(H17)、長生(H17) 通 信 制：千葉大宮(H18) [三部制定時制併置校：松戸南(H18)]
第 2 期	市原八幡(H18)、千葉東(H20)、船橋西(H20)、印旛明誠(H22) 夜間定時制(H18) [三部制定時制併置校：生浜(H19)]
第 3 期	船橋(H21)、木更津(H21)

【前期分に係る評価】

- 多様な選択科目の設定、進路希望や習熟度等に応じた主体的な科目の選択、二学期制導入による授業時間の確保など、多様な進学志望への対応が図られた。
- ガイダンス機能の充実を図っていることから、生徒が早期に進路について関心を持ち、科目を選択することで、学習意欲が高まっている。また、単位制による多様な選択科目の設置に伴う職員の配置などにより、生徒の興味・関心、能力・適性、進路希望等、個に応じた指導が可能になっている。
- 社会人や地域の人々が受講可能な科目を設定し、科目履修生として受入れ、県民の生涯学習ニーズに応える「地域の学習センター」としての役割を果たす学校づくりも見られる。
- 大学受験等にかかわらない科目の軽視や、安易な科目選択にならないよう、キャリア教育の一環として十分な科目選択指導が必要である。
- 単位制の良さが生徒・保護者・中学校側に十分理解されていない状況が指摘されており、今まで以上に広報していく必要がある。

(6) 女子校の共学化

【現行再編計画】

男女共同参画社会の進展を踏まえ、原則として女子校を共学化する。

女子校 13 校のうち 11 校程度を共学化し、残る 2 校程度については、女子校に進学を希望する生徒に配慮し、学区を県内全域とするなどして存続する。

【実施状況】 女子校 13 校のうち、11 校を共学化（女子校 2 校）

	共学化実施校
第 1 期	若葉看護(H14)、 <u>佐原女子(H15)</u> 、松戸(H16)、茂原(H16)、大多喜女子(H16) 佐倉東(H17)、御宿(H17)、松尾(H18)、野田(H18)
第 2 期	銚子(H19)、安房南(H20)

【前期分に係る評価】

- 共学化は男女の自然な交流ができ望ましい姿であり、実施した多くの学校で志願確定倍率・大学進学率などの向上、生活指導面での改善、部活動の充実、学校行事の活性化等が見られる。
- 特に学校数の少ない地域における共学化は、男子生徒の学校選択幅の拡大、学校配置の適正化の推進等、総じて地域のニーズに的確に対応したものといえる。
- 男子生徒の比率が 30%以下の学校もあることから、男子生徒がさらに魅力を感じる学校づくりに努める必要がある。
- 残る 2 校の女子校（千葉女子高校・木更津東高校）については、女子校に入学したいという中学生の志望も少なからずあることや地域の状況を考慮し、学区のあり方を含めて検討していく必要がある。



〔茂原(共学化)・学年レクリエーション〕

〔木更津東(女子校)・音楽コンクール〕

